砂漠で遭難したら？

◎グループでよく話し合って、みんなが納得できる結論を出しましょう。

**年　　組　氏名**

　７月中旬のある日、午前10時頃、あなたたちが乗った小型飛行機は、アメリカ合衆国の南西部にある砂漠の中に不時着しました。不時着した際、飛行機は大破炎上、操縦士と副操縦士は焼死しましたが、あなたたちは奇跡的に大きな怪我もなく無事でした。

　不時着はあまりに突然で、無線で救援を求める時間もなく、また現在位置を知らせる時間もありませんでした。しかし、不時着する前に見た周りの景色から、あなたたちは飛行プランに示されているコースから約100km離れたところにいることがわかっていました。また、操縦士は不時着前に、最も近くの居住地は約110km南南西にあることだけをあなたたちに告げていました。この付近はまったく平坦で、サボテンが生えている他は不毛の地域です。不時着直前の天気予報では、気温は約43℃になるだろうと言っています。それは、地表に近い足もとでは50℃にもなるだろうことを意味しています。

　あなたたちの服装は軽装（半袖シャツ、ズボン、靴下、タウンシューズ）で、各々、各１枚のハンカチとサングラスを持っています。また、全員で８ドルばかりの小銭と100ドルの紙幣、１箱のタバコとボールペンが１本あるのみです。ただ飛行機が燃えてしまう前に、あなたたちは次の12の品物をかろうじて取り出すことができました。

　あなたたちの課題は、これらの12の品物を、あなたたちが生き残るために最も重要と思われるものから順番に、1から12までの順位をつけることです。生存者は、あなたたちのグループのメンバーと同数であり、またみんなが協力しあうことを同意しています。

１．最初は個人作業です。上の文を読んで、下の表の「自分の結論」の欄に、自分の考える重要度の順位を記入してください（最重要度「１」、最低重要度「12」）。

２．次にグループで話し合って、グループとしての重要度の結論を出します。まずは、話し合いの前にグループの人の名前を確認して、下の表の一番上の欄に、全員の名前を書き入れましょう。それぞれの人の「自分の結論」をその下に書き入れてから、話し合うと楽です。

３．分析をします。

**絶対値とは？**

　数値のプラス、マイナスの記号を省いたものです。例えば、（＋５）の絶対値は５、（－３）の絶対値は３という具合です。

　「正解の順位が３番」で「自分の結論が５番」なら、

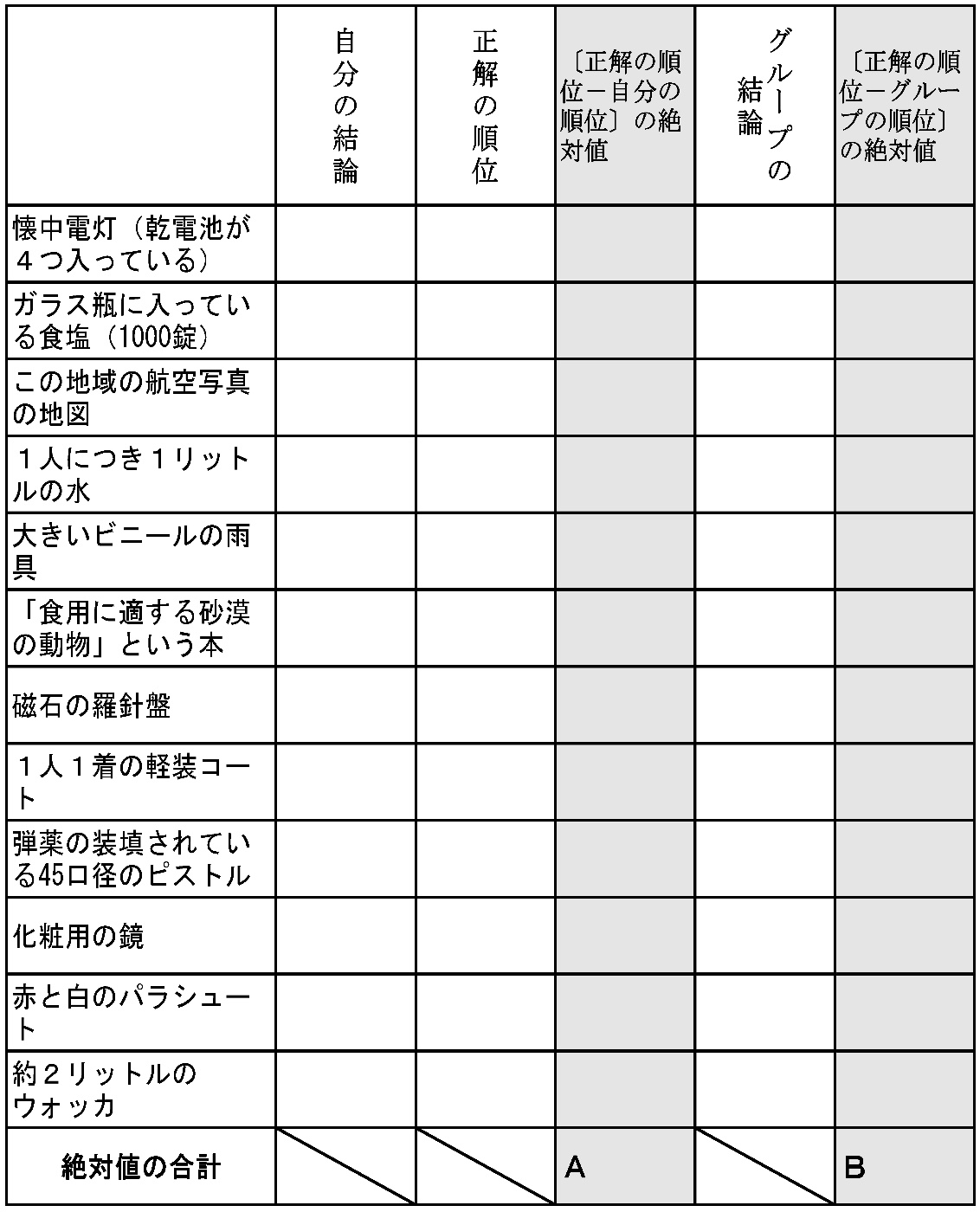
　３－５＝－２

となり、絶対値は「２」です。

①下の表に、「自分の結論」と「グループの結論」を転記してください。

②「解答解説」を見て､「正解の順位」を記入してください。

③右の説明を読んで、「〔正解の順位－自分の順位〕の絶対値」と「〔正解の順位－グループの順位〕の絶対値」を書き入れ、計算して「絶対値の合計」の〔Ａ〕と〔Ｂ〕を求めてください。**絶対値の合計が小さいほど「正解に近い」ことになります。**

****

**自分の結論と正解の差は？　〔Ａ〕**

**グループの結論と正解の差は？　〔Ｂ〕**

　〔Ａ〕より〔Ｂ〕のほうが小さいなら、話し合いによって「正解に近づいた」ことになります。それは「よい話し合いができた」と言ってもいいでしょう。

・それはなぜ起きたのでしょうか？

・あなたは何をしていましたか？

・グループにどう貢献できましたか？

・これから話し合いをするときにどんな点に気をつけたいですか？

４．このワークの感想を記入して提出してください。

解答解説

　専門家によるポイントの解説と、正解とその理由は以下のとおりです。

**〈重要なポイント〉**

　最初の分かれ道は、「自力で町まで歩くか」「その場で救助を待つか」です。これによって、持っていく品物の優先順位も変わってきます。

　正しい選択は「**その場で救助を待つ**」です。

　専門家によれば、「飛行機が墜落して、２時間以内に発見される確率は80％」だそうです。

　砂漠の中を110kmも歩くのは不可能であり、死に近づくばかりです。そこで、動かずに脱水を防ぎ、１か所で待つほうが助かる確率が高くなります。

　もう１つの選択肢は、「短期戦か？」「長期戦か？」の予測です。

　上述のように、80％は２時間以内に発見されています。ということは、「**短期戦**」になることのほうが、可能性としては高いということです。夜までいる、何日も助けを待つ、ということはあまり考えないほうがよいそうです。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | **正解の順位** | **理　由** |
| 懐中電灯（乾電池が４つ入っている） | **４** | 夜の救助に光を使って知らせるため |
| ガラス瓶に入っている食塩（1000錠） | **12** | 塩は血液濃度を上げたり、脱水症状を促進してしまうため |
| この地域の航空写真の地図 | **９** | 周辺の地形を知るために必要だが、捜索隊に発見されることを目的とするため、あまり必要ない |
| １人につき１リットルの水 | **３** | 生存には不可欠だが、捜索隊に発見してもらうことが最優先である |
| 大きいビニールの雨具 | **６** | 砂嵐から身を守るため |
| 「食用に適する砂漠の動物」という本 | **10** | 動物を捕まえるのは体力を消耗し、脱水症状を促進するため |
| 磁石の羅針盤 | **８** | 町に向かっていくために必要だが、捜索隊に発見されることを目的にすると、あまり必要ない |
| １人１着の軽装コート | **２** | 太陽光線を肌に浴びさせないようにする。夜の寒さよけにもなる |
| 弾薬の装填されている45口径のピストル | **７** | ピストルの音で知らせるため。また、仮に動物に襲われそうになったら射殺する |
| 化粧用の鏡 | **１** | 鏡はかなり遠距離まで光が届き、捜索隊への信号になる |
| 赤と白のパラシュート | **５** | 広げて空からの目印にする |
| 約２リットルのウォッカ | **11** | ウォッカを飲むとよけいに喉が渇き、脱水症状を促進してしまうため |

****